

研究協力のおお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院

リハビリテーション科

記

研究の名称	人工膝関節手術後患者の疼痛に影響を与える因子の分析
対象	2020 年 4 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日までの期間に人工膝関節手術が行われた患者さんの診療情報を研究に利用いたします。本院では、300 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 (2021 年 9 月 21 日) ~ 2026 年 5 月 31 日
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的：平成の間に最も患者数が増加した整形外科疾患は関節症であり、この増加に伴い人工膝関節手術の件数も増加していますが、平均在院日数は短くなっています。つまり、人工膝関節手術を受ける患者さんは増えていますが、術後のリハビリテーション治療を行う期間は短縮しています。日常生活の自立や社会復帰・社会参加を促進するためには、術後の痛み（疼痛）をコントロールして、早期に膝関節機能および歩行能力を改善させることが重要です。しかし、術後の疼痛には多くの原因があり、本院では術後の疼痛に影響を与える因子が今のところ明らかになっておりません。そこで、本研究は、「人工膝関節手術後患者における疼痛に影響を与える因子を分析すること」を目的として、その結果を今後のリハビリテーション治療に活用したいと考えています。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、本院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される</p>

	<p>予定です。本研究は日常診療を行った後に情報をまとめる形で行われる研究（観察研究）ですので、参加することによる直接的な利益や不利益はありません。また、本研究へ参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。</p> <p>対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手や閲覧できますので、ご希望される際は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>情報：既存の診療記録から、基本的情報（年齢、性別、身長、体重、術後入院日数、訓練日数、リハビリテーション治療実施単位数など）および手術・検査・治療内容（術前の femorotibial angle (FTA)、手術時間、出血量、ターニケットの使用有無、人工関節の使用機器、内服薬、寒冷療法の有無など）、リハビリテーション評価・治療内容（関節可動域、筋力、歩行能力など）、看護記録などを取得させていただきます。</p>
<p>研究者名</p> <p>【研究責任者】</p> <p>リハビリテーション科 技師長補佐 佐藤 久友</p>	
<p>参加拒否の申し出について</p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p>問い合わせ窓口</p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学病院 リハビリテーション科</p> <p>担当者 佐藤 久友</p> <p>連絡先 072-683-1221（代） 内線 2707</p>	

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学 病院長 殿
大阪医科薬科大学病院
研究責任者 佐藤 久友 殿

課題名	人工膝関節手術後患者の疼痛に影響を与える因子の分析
-----	---------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）